

渡航外来を受診される方へ

ワクチン接種と海外渡航に関する注意事項を、診察前によく読んでください。

下記の内容を踏まえた上で、診察とワクチン接種を行います。

分からない内容については診察医に気軽にお尋ねください。

1. ワクチンを接種した後の注意事項

- ① 重大なアレルギー反応（意識が遠のく、息苦しくなる、じんましんなど）が現れることがまれにあります。接種後 15～30 分間は椅子にすわり、少しでも体調に異変を感じたらすぐに申し出てください。
- ② 注射した場所が、かゆくなる、痛くなる、赤くなる、腫れる、しこりができたりすることがあります。多くは 3 日程度でおさまりますが、強く痛んだり動作に支障が出る場合はご連絡ください。
- ③ 発熱、頭痛、倦怠感、筋肉痛、関節痛などがあらわれることがあります。
- ④ MR（はしか・風疹）ワクチンでは、接種後 7～12 日目頃に、熱やほっしんが出る場合があります。

2. その他の注意

- ① 注射した場所は、もまないようにしてください。
- ② 当日はお風呂に入っても構いませんが、注射した場所を擦らないようにしてください。
- ③ 当日は飲酒や激しい運動は避けてください。

3. ワクチンの接種スケジュール

| | |
|---------|--|
| 狂犬病 | 計 3 回、初回接種から 1 週後（2 回目）と 3～4 週後（3 回目） |
| 日本脳炎 | 計 3 回、初回接種から 1～4 週後（2 回目）と 12 か月後（3 回目） |
| A 型肝炎 | 計 3 回、初回接種から 2～4 週後（2 回目）と 6 か月後（3 回目） |
| B 型肝炎 | 計 3 回、初回接種から 4 週間後（2 回目）と 5～6 ヶ月後（3 回目） |
| 破傷風 | 計 3 回、初回接種から 3～8 週後（2 回目）と 12～18 か月後（3 回目） |
| 髄膜炎菌 | 計 1 回 |
| MR ワクチン | 計 2 回、初回接種から 4 週後（2 回目） |

※ 上記の日程で接種困難な場合にはご相談ください。

※ 生ワクチン（MR、おたふくかぜ、ムンプス、黄熱ワクチン）接種後は 4 週間、不活化ワクチン（生ワクチン以外）接種後は 1 週間あけて次のワクチンを打つことが出来ません。

※ 本院では腸チフス、コレラ、黄熱のワクチンは接種できません。
（2020 年 3 月より、黄熱ワクチンは接種できるようになります）

4. 海外滞在中の一般的な注意事項

- ① 火が十分に通っていないもの、屋台で売られているもの、氷やアイスクリーム、すでにカットされている果物等は食べないように心がけてください。水はボトルウォーターか煮沸済みのものを飲むのが安全です。
- ② 手洗いをこまめにするようにしてください。
- ③ 蚊やダニなどの虫刺されを避けるため、長袖・長ズボンを着用し、防虫剤（DEET、イカリジン配合虫よけスプレーなど）、蚊取り線香、蚊帳を利用してください。
- ④ マラリアに対する予防薬がありますが渡航前から飲むなどいくつかの条件があります。希望される方はお知らせください。
- ⑤ 動物には出来るだけ近づかないようにして下さい。もし咬まれたりした場合は、受傷部位をせっけんで洗った後ただちに現地の病院に行って狂犬病と破傷風に関する医療アドバイスを受けてください。
- ⑥ 川、池、湖などで水浴びしたり泳いだりすることは避けてください。
- ⑦ サンドルなど露出の多い履物は避けるようにして下さい。
- ⑧ 海外へ渡航する際は海外旅行保険に加入されることを強くお勧めします。
- ⑨ 「たびレジ」に登録し、旅先の安全情報を入手しましょう。
- ⑩ 標高が高い観光地を訪れる際は十分な日数をかけて高値順応し、高山病の予防に努めましょう。予防内服も考慮してください。

5. 感染の起こりかた

蚊に刺されて感染するもの：日本脳炎、マラリア、デング熱、黄熱病

食事や水を介して感染するもの：A型肝炎、旅行者下痢症、腸チフス、コレラなど

体液との接触、性行為で感染するもの：B型肝炎、梅毒、HIVなど

動物に咬まれる、もしくは引っ搔かれて感染するもの：狂犬病

傷口からの侵入するもの：破傷風

6. 感染症情報サイト

外務省在外公館医務官情報 <http://www.mofa.go.jp/mofaj/toko/medi/index.html>

FORTH For Traveler's Health 厚生労働省検疫所 <http://www.forth.go.jp/>

7. この資料に関するお問い合わせ

長崎大学病院 感染症内科 Tel：095-819-7383 FAX：095-819-7385

渡航外来担当医まで